

取組と目標に対する自己評価シート（フェイスシート）

市町名	大崎上島町
所属名	大崎上島町社会福祉協議会
担当者名	藤原金生
連絡先(電話)	0846-62-1718

タイトル	
区分(あてはまるものにチェックを)	☐ 自立支援、介護予防、重度化防止 ☐ 介護給付費等適正化

現状と課題
基本施策1 健康維持・介護予防の推進 (3)健康支援…食育の推進 基本施策2 生きがいづくりと社会参加の推進 (1)各種活動の支援と社会参加の場の充実 老人クラブ活動 【老人クラブ連合会】 老人クラブの事務局として、会員の意見を取り入れ、活動の企画立案を行った。健康増進事業として、グラウンドゴルフ大会やスポーツ大会を開催した。広島県老人クラブ連合会と共同で非会員アンケートを実施した。 老人クラブは、会員の高齢化や役員の成り手不足、新規加入者の減少や小規模老人クラブの解散がみられる。 基本施策3 地域包括ケアシステムの深化・推進 (2)在宅医療・介護連携の推進 【在宅介護者家族会】 介護を担う家族が3か月に1回のペースで集まり、家族としての思いや悩みを共有したり、日頃の在宅介護の状況を話したり、地域の様々な情報を交換する場を設けた。 基本施策3 地域包括ケアシステムの深化・推進 (3)生活支援体制づくりの推進 【三者合同研修会】 旧町単位（大崎・木江・東野地区）で開催し、区長、民生委員、巡回相談員と居宅介護支援専門員や相談員にも参加を呼び掛けた。 【地域づくり会議】 1 地区で地域づくりを開催し、つながりマップの更新と避難支援について協議した。 基本施策3 地域包括ケアシステムの深化・推進 (5)権利擁護支援の推進 【権利擁護に関する相談・情報提供の充実】 ・中核機関の業務を一部受託した。 ・県社協、広島家庭裁判所主催の研修会、情報交換会へ参加した。 【成年後見制度利用促進】 ・かけはしの利用者で成年後見制度の利用が望ましい方に、成年後見制度利用支援が進まず、制度移行ができていない。 ・成年後見制度の利用促進のために、権利擁護セミナーを開催した。

【日常生活自立支援事業】福祉サービス利用援助事業「かけはし」

認知症高齢者、知的障害者、精神障害者などで判断能力が不十分な人などを対象に、福祉サービスや日常生活のさまざまな契約の手続き、日常的な金銭管理や預金通帳の預かりなどの支援を行った。

基本施策 4 住み慣れた地域での生活の支援 (1)生活支援・福祉サービスの推進

**基本施策 4 住み慣れた地域での生活の支援 (4)安心・安全まちづくりの推進
移動手段の充実**

【外出支援サービス事業】

運転協力員の確保が難しくなっており、旧町単位（本所及び各支所）で調整しているが他地区からの協力が無いと、運転協力員が足りず、事業が回らない状況にあり、新たな運転協力員の確保が必要である。

【各種貸付事業】

日常生活上支援が必要な世帯を対象に、生活福祉資金、高額療養費、民生資金の貸付を行った。

公的な社会資源、年金までのつなぎとして、食料支援が必要である。

基本施策 4 住み慣れた地域での生活の支援 (2)見守り・支え合い活動の充実

【多様な主体の参画による地域支え合い活動の展開】

地域活動者の高齢化などによる担い手不足が課題となっており、地域活動者への支援や新たな活動人材の発見・養成が必要である。

赤い羽根地域応援隊ボランティアスクールを昼2回コースで開催し、19名が参加した。

【認知症高齢者コミュニティ・ケア「夢ハウス」事業】

空き家を利用して、少人数で昔ながらの遊びや行事を取り入れながら、認知症高齢者の通所サービスを行った。

【ふれあいサロン事業】

誰もが気軽に立ち寄れる場として、閉じこもりの予防や認知症予防のためのプログラム等を利用者と協力者とで実施した。概ね、各会場で月1回から2回開催した。

【よってみんな屋（中野・大串）】

空き家を利用し、地域協力員が主体となり、「おしゃべりがごちそう」を目的に小地域サロンを開催した。

【住民参加型福祉サービス事業】かみじまネット

暮らしの中でちょっとした困りごとのある人（利用者）と、ちょっとしたことならお手伝いができる人（利用者）が支え合い、助けあう互助活動を行った。

地域活動者の高齢化などによる担い手不足が課題となっており、地域活動者への支援や新たな活動人材の発見・養成が必要である。

第9期（令和7年度）における具体的な取組

【老人クラブ連合会】

・会員数：各単位老人クラブで会員加入を呼びかけている。広島県老人クラブ連合会による大崎上島町の非会員を対象としたアンケートの取りまとめを行った。

- ・料理教室：令和7年度は料理教室を1回開催し、19名が参加した。
- ・グラウンドゴルフ大会：令和7年度は2回開催し、226名が参加した。

【在宅介護者家族会】

- ・在宅介護者家族会を年4回開催し、11名が参加した。また、リフレッシュ交流会を年1回実施し、2名が参加した。

【三者合同研修会】

- ・避難行動要支援者の個別避難計画についての説明と、地域の連携をテーマにしたグループワークを行い、145名が参加した。

【地域づくり会議】

- ・垂水地区で8月と12月に実施した。内容は、つながりマップの更新と災害時の避難行動について協議した。

【権利擁護に関する相談・情報提供の充実】

- 中核機関の業務を一部受託し、町と共催で権利擁護セミナーを開催した。

【成年後見制度利用促進】権利擁護セミナー

- ・権利擁護セミナーを開催し、25名が参加した。

【日常生活自立支援事業】福祉サービス利用援助事業「かけはし」

- ・認知症高齢者、知的障害者、精神障害者などで判断能力が不十分な人などを対象に、福祉サービスや日常生活のさまざまな契約の手続き、日常的な金銭管理や預金通帳の預かりなどの支援を行った。

【外出支援サービス事業】

- ・要介護（支援）認定者、事業対象者及び障がいのある方等で、一般の交通機関の利用が困難であり、家族等からの支援が受けられない方を移送用車両で町内及び町外の医療機関へ送迎した。

【各種貸付事業】

- ・日常生活上支援が必要な世帯を対象に、生活福祉資金7件、高額療養費0件、民生資金6件を貸付けた。

【多様な主体の参画による地域支え合い活動の展開】赤い羽根地域応援隊ボランティアスクール

- ・ボランティアと地域活動をテーマにした2回コースを開催し、19名が参加した。

【ふれあいサロン事業】

- 誰もが気軽に立ち寄れる場として、閉じこもりの予防や認知症予防のためのプログラム等を利用者と協力者とで実施した。

【よってみんさい屋（中野・大串）】

- 空き家を利用し、地域協力員が主体となり、「おしゃべりがごちそう」を目的に小地域サロンを開催した。

【住民参加型福祉サービス事業】かみじまネット

- 暮らしの中でちょっとした困りごとのある人（利用者）と、ちょっとしたことならお手伝いができる人（利用者）が支え合い、助けあう互助活動を行った。

目標（事業内容、指標等）

【老人クラブ連合会】

- ・会員数：新規会員の加入に向けて魅力ある活動の企画、会の解散を防ぐために運営を支援する。
- ・料理教室：新規参加者が見込めるような企画する。
- ・グラウンドゴルフ大会：引き続き、会員の交流、健康増進に向けて実施する。

【在宅介護者家族会】

- ・地域の介護者同士の支え合いの場となるように開催を支援する。

【三者合同研修会】

- ・引き続き、地区の役員の連携の場として開催する。災害にとどまらず、地域の課題について協議ができる場にする。

【地域づくり会議】

- ・引き続き、年間2地区での開催に向けて取り組む。

【権利擁護に関する相談・情報提供の充実】

中核機関の取り組みを行政と連携しながら実施する。

【成年後見制度利用促進】 権利擁護セミナー

- ・成年後見制度が必要な方に制度を利用していただくため、幅広く周知を図る。制度利用の希望があれば専門機関とのつなぎを行う。

【日常生活自立支援事業】 福祉サービス利用援助事業「かけはし」

- ・一人で判断することに不安のある高齢者や障がい者等を対象に福祉サービス利用援助事業「かけはし」を実施する。

【外出支援サービス事業】

- ・要介護（支援）認定者、事業対象者及び障がいのある方等で、一般の交通機関の利用が困難であり、家族等からの支援が受けられない方を移送用車両で町内及び町外の医療機関へ送迎する。

【各種貸付事業】

- ・各種貸付が必要な方への貸付や相談支援を行う。

【多様な主体の参画による地域支え合い活動の展開】 赤い羽根地域応援隊ボランティアスクール

- ・新規ボランティア養成につなげる。受講者から1名以上町内でのボランティア活動に参加してもらえるようにする。

【認知症高齢者コミュニティ・ケア「夢ハウス」事業】

- ・空き家を利用して、認知症状はあるが身体介護は必要ない状態の高齢者が週1回から2回（月・水曜日）集まり、家庭的な雰囲気となるようにケアスタッフと一緒に昼食をとったり、パズルなどの脳トレをしたり、定期的に季節を感じられる行事などを実施する。

【ふれあいサロン事業】

- ・月1～2回地域の集会所や公民館に誰もが気軽に立ち寄れる場として集まって話をしたり、レクリエーションや趣味の活動を行う。また、閉じこもりの予防や認知症予防のためのプログラム等、ゲストを派遣したりして利用者と協力者とで実施する。

【よってみんな屋（中野・大串）】

- ・定期的に気軽に行ける常設サロンとして週1～2回、町内2か所で空き家等を利用し、地域協力員が主体となり「おしゃべりがごちそう」を目的に小地域サロンを開催する。月1回、在宅看護師による健康相談や医師による健康セミナーを開催する。また、季節

の行事では会食会を開催したりして、地域の学生との交流も図る。

【住民参加型福祉サービス事業】かみじまネット

・暮らしの中でちょっとした困りごとのある人（利用者）と、ちょっとしたことならお手伝いできる人（協力者）が日常生活にある多様な生活ニーズについて、支え合い助け合う住民参加型の互助活動を推進する。これが縁でご近所同士のお互い様活動につながることを目指す。

目標の評価方法

評価方法は各事業の実績似て評価する。

取組と目標に対する自己評価シート(自己評価結果)

(実績評価)

実施内容

【老人クラブ連合会】

- ・会員数：８５２名
- ・料理教室：年１回開催（１月２７日、参加者１９名）
- ・グラウンドゴルフ大会：年２回開催（５月２２日第３１回グラウンドゴルフ大会１０７名、１０月８日第３２回グラウンドゴルフ大会１１５名）

【在宅介護者家族会】

- ・開催回数：４回
- ・参加者数（延べ人数）：１３名

【三者合同研修会】

- ・東野地区：６月２日、参加者２５名
- ・木江地区：６月４日、参加者３３名
- ・大崎地区：６月６日、参加者２９名

＜内容＞大崎上島安心見守りサービス事業について

避難行動要支援者について

健康福祉課 課長補佐 村山 吉郎 氏

健康福祉課 川上 慎司 氏

町の災害対策・機材について

総務課 庶務係 越智 祐吾 氏

＜グループワーク＞各地区の災害対策・見守り活動について

【地域づくり会議】

- ・垂水地区：８月２７日、１２月１７日

【権利擁護に関する相談・情報提供の充実】中核機関

- ・町から中核機関の業務を一部受託し、権利擁護セミナーを共催した。

【成年後見制度利用促進】権利擁護セミナー

- ・権利擁護セミナー開催（１月２３日、参加者２５名）

＜内容＞「これからの“自分の暮らし”を自分でえらぶために
～任意後見という備え～」

公証人 太田 雅也 氏

【日常生活自立支援事業】福祉サービス利用援助事業「かけはし」

- ・利用者数：26名（令和7年度末）
- ・専門員数（兼務）：3名
- ・生活支援員数：5名
- ・活動実績：767回

【外出支援サービス事業】

- ・利用登録者数：207名
- ・運転協力員数：50名
- ・活動件数（延べ回数）：2,860回（町内：2,030回、町外：830回）

【各種貸付事業】

- ・生活福祉資金貸付事業：7件
- ・高額療養費貸付事業：0件
- ・民生資金貸付事業：6件

【多様な主体の参画による地域支え合い活動の展開】赤い羽根地域応援隊ボランティアスクール

- ・3月12日、17日の2回コース 参加者13人

【認知症高齢者コミュニティ・ケア「夢ハウス」事業】

- ・利用者数：8名
- ・開催回数：91回
- ・利用者（延べ人数）：266名

【ふれあいサロン事業】

- ・開催箇所数（サロン数）：24か所
- ・開催回数：271回
- ・参加者数（延べ人数）：5,004名

【よってみんな屋（中野・大串）】

- ・開催場所：2か所
- ・開催回数：138回（中野：49回、大串：89回）
- ・参加者（延べ人数）：1,714名（中野：587名、大串：1,127名）

【住民参加型福祉サービス事業】かみじまネット

- ・登録協力員：63名
- ・活動実績：240回（内、通院付き添い197回、掃除11回、その他32回）

自己評価結果 【 】←(◎, ○, △, ×のいずれか※を記載してください。)

【老人クラブ連合会】

自己評価結果 【○】

・様々な行事を開催し、高齢者の健康増進に繋がった。新規加入者を増やすための事業を企画する。

【在宅介護者家族会】

自己評価結果 【◎】

・計画通り、在宅介護者家族会を年4回開催し、リフレッシュ交流会も実施した。島外

に出かける機会も減少していることから、久しぶりに島外に出かけ、季節の花々を鑑賞され、リフレッシュできた様子である。

【三者合同研修会】

自己評価結果【◎】

- ・三者の連携が深まる機会となった。

【地域づくり会議】

自己評価結果【○】

- ・計画より少ない1地区での実施となったが、2回開催することで内容を深めることができた。

【権利擁護に関する相談・情報提供の充実】中核機関

自己評価結果【○】

- ・町から中核機関の業務を一部受託し、広報活動として権利擁護セミナーを共催した。

【成年後見制度利用促進】権利擁護セミナー

自己評価結果【△】

- ・県社協のアドバイザー事業を活用し、個別案内や広報をしたが前回より参加者が少なかった。

【日常生活自立支援事業】福祉サービス利用援助事業「かけはし」

自己評価結果【○】

- ・新規（4件）の依頼に対応出来た。かけはしから成年後見制度への移行が1件ある。

【外出支援サービス事業】

自己評価結果【○】

- ・利用件数は昨年度並みで利用待機などは発生していない。

【各種貸付事業】

自己評価結果【○】

- ・各種貸付を必要とする方へ、貸し付けや相談支援を行った。

【認知症高齢者コミュニティ・ケア「夢ハウス」事業】

自己評価結果【○】

- ・在宅の認知症高齢者等に対して、「空き家」を利用したコミュニティ・ケア事業を実施した。家族介護の負担軽減と認知症高齢者の社会的孤立感の解消、自立生活の助長を図ることができた。

【多様な主体の参画による地域支え合い活動の展開】赤い羽根地域応援隊ボランティアスクール

自己評価結果【○】

- ・地域活動を知る機会となったが、新規ボランティアの確保に至らなかった。

【ふれあいサロン事業】

自己評価結果【△】

- ・各地区に通いの場としてサロンが必要だと考えるが、サロンが無い地区への働きかけなどができていない。休止中だったサロンが再開し、ゲストの派遣や回覧用のチラシを職員が作成するなどの支援をして、1年を通して開催することができた。近年の物価高騰などの影響を考慮し、会食をした場合の助成金の1,000円アップを令和8年度より実施する。現在、参加者の人数に関係なく助成金が一律のため、参加人数の多いサロンへ人数を考慮した助成金の仕組みづくりをしていきたい。

【よってみんない屋（中野・大串）】

自己評価結果【○】

・概ね予定通り決まった曜日に開催できており、参加者も元気に通われている。ゲストの派遣や、コロナ禍を機に滞ってしまった行事を再開するなどして、よってみんなの活性化につなげたい。

【住民参加型福祉サービス事業】 かみじまネット

自己評価結果【○】

・推進会議で委員と協議して、幅広いニーズに対応できるよう利用料の改定を行ったり、ポスターやリーフレットを新しくしたり、社協だよりで活動の広報をした効果もあり、今までになかった相談内容もあり、通院介助以外の利用も増えた。

課題と対応策

【老人クラブ連合会】

・新規加入者を増やすために、単位老人クラブとの連携、広島県内の老人クラブ、広島県老人クラブ連合会と連携し、会員数を増やすための事業を推進する。
・任意団体の会員の意見を取り入れ、活動の支援や会員加入促進を支援していく。活動が継続し、団体の活性化を図ることで生きがいづくりや健康づくり、引きこもり防止につなげる。

【在宅介護者家族会】

・介護者家族会の参加メンバーが固定化傾向にあり、新たな参加者を増やすことで会の活性化を図る。会員を募るパンフレットを作成し、毎年4月、回覧もしくは全戸配布を検討する。

【三者合同研修会】

・地域の課題について、三者が考えられるテーマを企画する。

【地域づくり会議】

・地域の困り事の解消、より住みやすい地域になるように三者合同研修会等で小さなことでも地域課題を考える場を提供する。

【権利擁護に関する相談・情報提供の充実】

・引き続き、権利擁護に関する相談支援を実施する。また、中核機関の取り組みとして町と連携しながら権利擁護の情報提供について周知を図る。

【成年後見制度利用促進】 成年後見セミナー

・成年後見制度が必要な方に制度を利用していただくため、幅広く周知を図る。制度利用の希望があれば専門機関とのつなぎを行う。

【日常生活自立支援事業】 福祉サービス利用援助事業「かけはし」

・かけはしから成年後見制度への移行が進んでいない。

【外出支援サービス事業】

・対応件数の増加により、運転協力員不足が生じており、原則旧町単位で調整しているが、調整が難しい場合には町域で調整する。

【各種貸付事業】

・貸し付けを必要としている方に貸し付けができるよう相談支援を実施する。

【認知症高齢者コミュニティ・ケア「夢ハウス」事業】

・古民家を利用しており、網戸や建具の修繕を行いながら運営しているが建物の老朽化が目立ってきている。少人数制でご自宅で過ごすように、ゆったり楽しい時間を過ごし

ていただくのがこの事業の良いところであり、継続していくためには修繕等の財源、引き継いでくれる新たな職員の確保が必要である。

【多様な主体の参画による地域支え合い活動の展開】赤い羽根地域応援隊ボランティアスクール

- ・参加者の固定化の解消と新規ボランティア活動者を増やすため、町内のボランティア活動の場と連携する。

【ふれあいサロン事業】

- ・世話人の高齢化が課題で、新たな担い手の確保が必要である。

【よってみんな屋（中野・大串）】

- ・世話人の高齢化が課題で、新たな担い手の確保が必要である。

【住民参加型福祉サービス事業】かみじまネット

- ・通院付添いの対応件数が増加しているが、協力員不足が生じており、新たな担い手の確保が必要である。

※「◎達成できた、○概ね達成できた、△達成はやや不十分、×全く達成できなかった」

※基本施策 1 健康維持・介護予防(2)健康づくりと介護予防の一体的な推進

【地域介護予防活動支援事業】高齢者巡回相談員派遣事業

基本施策 5 介護サービスの充実・提供体制の維持(3)介護福祉人材の確保・育成支援

【高齢者巡回相談員派遣事業】1 人暮らし世帯訪問回数 15779 回、2 人暮らし世帯訪問回数 7208 回

上記については、健康福祉課（保険係）が作成する。